

①	都道府県名	静岡県
②	事業省名	静岡県
③	事業名称	静岡市水道事業
④	水道台帳番号	22007
⑤	給水人口(II21年度水道統計値)【単位：人】	690677
⑥	一日最大給水量(II21年度水道統計値)【単位：m3/日】	262158
⑦	一日平均給水量(II21年度水道統計値)【単位：m3/日】	237641

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力【m3/日】	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数【日】	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 b.取水施設 c.水源地	- - -	- - -			
②鳥造ろ過施設	I 地表水 II 地下水	○ -	100000 -	谷津浄水場：興津川の表流水を浄水処理する市内最大の浄水場	0.5	
③濾造ろ過施設	I 地表水 II 地下水	- -	- -			
④膜ろ過施設	I 地表水 II 地下水	- ○	- 10000	和田島浄水場：平成19年度供用開始 型式：内圧式モノリス型	0.5	
⑤高度処理施設	I 地表水 II 地下水	- -	- -			
⑥逆水浸水化施設	-	-	-			
⑦塩素消毒のみの施設	I 地表水 II 地下水	- -	- -			
⑧簡易水道等の小規模施設	I 地表水 II 地下水	- -	- -			
⑨研修施設	a.講義(座学)研修 b.技能、実技研修	- -	- -			
⑩水質試験所	-	○	-	水質試験センター：平成19年度合併に伴い施設を一元化。水道GLP平成21年度取得	0.5	
⑪その他	配水管理センター お客様センター 水道博物館 その他	- - - -	- - - -			

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要日数【日】	過去の実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、維持管理、点検業務 等				
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、更新計画、業務指標(P)、地域水道ビジョン、アセットマネジメント 等				
⑦水源・取水・導水				
⑧浄水施設等				
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、管材、緊急用資機材 等				
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間

【4.視察及び講義に関連した費事業の特徴】

費水道事業（用水供給事業）の特徴	水道事業の特徴としては、水源の約50%が地下水で賄われ、水質に大変恵まれていることから、減菌処理のみで直送し、「静岡のおいしい水」を市民へ供給している。また、主要水源である安倍川、興津川とも源流から河口まで、市内にあるため、河川管理者と連携し、市独自で河川環境保護への取組みが可能である。
------------------	--

【5.問い合わせ先】

担当部署	水道部水道総務課総務担当
電話番号	054-(354)2703

①	都道府県名	愛知県
②	事業者名	名古屋市上下水道局
③	事業名称	名古屋市水道事業
④	水道台帳番号	23001
⑤	給水人口(H21年度水道統計値)【単位：人】	2,381,707
⑥	一日最大給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	905,970
⑦	一日平均給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	792,684

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等		受入の可否	施設能力【m3/日】	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数【日】	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池	○	-		水資源機構所有	1	
	b.取水施設	○	-			0.5	有
	Ⅰ 地表水	○	-				
	Ⅱ 地下水	○	-				
②急速ろ過施設	Ⅰ 地表水	○				0.5	有
	Ⅱ 地下水						
③緩速ろ過施設	Ⅰ 地表水	○		建設(改築)中	平成25年完了予定		有
	Ⅱ 地下水						
④膜ろ過施設	Ⅰ 地表水						
	Ⅱ 地下水						
⑤高度処理施設	Ⅰ 地表水						
	Ⅱ 地下水						
⑥海水淡水化施設	Ⅰ 地表水						
	Ⅱ 地下水						
⑦塩素消毒のみの施設	Ⅰ 地表水						
	Ⅱ 地下水						
⑧簡易水道等の小規模施設	Ⅰ 地表水						
	Ⅱ 地下水						
⑨研修施設	a.講義(座学)研修	○	-			0.5	有
	b.技能、実技研修	○	-			2	有
⑩水質試験所		○	-		各浄水場内に設置	0.5	有
		○	-		鍋屋上野浄水場内施設	0.5	有
⑪その他	配水管理センター	○	-			0.5	有
	お客様センター	○	-			0.5	有
	水道博物館	○	-			0.5	有
	その他	○	-			0.5	有

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要日数【日】	過去の実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、水道関係行政 等	○	0.5	有	水道事業しかかる法体系 給水条例の概要（意義、要件、効果）
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、顧客サービス 等	○	0.5	有	水道料金設定の考え方 給水収益の安定確保（メータ検針から水道料金収納、未納徴収管理）
③施設管理 ※マッピング、データ管理、維持管理、点検業務 等	○	0.5	有	名古屋におけるマッピングシステム 図面情報管理の概要
④人事・研修 ※人材育成 等	○	0.5	有	名古屋における人材育成概要 研修プログラム（事務、管路関係、設備関係）
⑤広報 ※節水PRを含む	○	0.5	有	名古屋における広報広聴活動について
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、更新計画、業務指標(Pf)、地域水道ビジョン、アセットマネジメント 等	○	0.5	有	名古屋の水道事業概要
⑦水源・取水・導水	○	0.5	有	名古屋の水道事業概要
⑧浄水施設等	○	0.5	有	名古屋の水道事業概要
⑨送水システム等	○	0.5	有	名古屋の水道事業概要
⑩配水システム ※漏水防止を含む、給水工事、給水方式等	○	1	有	配水管網と配水システム
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、管材、緊急用資機材 等	○	0.5	有	実技
⑫機械・電気、計装	○	1	有	実技（シーケンスの仕組み、ポンプの解体と組立て、P I D装置の仕組み）
⑬水質管理 ※水安全計画を含む	○	0.5	有	水質管理の概要
⑭危機管理	○	0.5		名古屋における地震対策
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	c. 1週間以内
-----------------	----------

【4.視察及び講義に関連した貴事業の特徴】

貴水道事業（用水供給事業）の特徴	木曽川という清浄で豊富な水源を有し、日本有数のおいしい水の評価を得ている。（1984年厚生省利き水会） 大都市でありながら市内の中心部に日本で2番目の規模の緩速ろ過方式の浄水場を有している。 3%以下の漏水率を実現する技術力と、それを担保する充実した実技研修施設を有している。
------------------	--

【5.問い合わせ先】

担当部署	総務部 職員研修所
電話番号	052-937-4748

①	都道府県名	滋賀県
②	事業名	草津市
③	事業名称	上水道
④	水道台帳番号	25012
⑤	給水人口(21年度水道統計値)【単位：人】	120,891
⑥	一日最大給水量(21年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	53,006
⑦	一日平均給水量(21年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	45,400

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力【m ³ /日】	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数【日】	過去の受入の有無
①水源施設						
a.ダム、貯水池		-				
b.取水施設						
i.地表水						
ii.地下水						
c.水源林		-				
②急速ろ過施設	○	35600		琵琶湖水を原水とし、薬品沈殿、急速ろ過、粒状活性炭ろ過を設けた施設	0.5	
③緩速ろ過施設	○	27850		琵琶湖水を原水とし、薬品沈殿、高速1次ろ過後に緩速ろ過を設けた施設	0.5	有
④膜ろ過施設						
⑤高度処理施設						
⑥ろ水淡水化施設						
⑦塩素消毒のみの施設						
⑧簡易水道等の小規模施設						
⑨研修施設						
a.講義(座学)研修		-				
b.技能、実技研修		-				
⑩水質試験所		-				
⑪その他						
配水管理センター		-				
お客様センター		-				
水道博物館		-				
その他		-				

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要日数【日】	過去の実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、水道関係行政等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、顧客サービス等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、維持管理、点検業務等				
④人事・研修 ※人材育成等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、更新計画、業務指標(Pf)、地域水道ビジョン、アセットマネジメント等				
⑦水源・取水・導水				
⑧浄水施設等	○	0.5	有	JICA研修生の施設説明と現場案内をILECからの依頼で年2回実施したが、同様の講義は可能。ただし、通訳必要。
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、管材、緊急用資機材等				
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	a. 1日以内
-----------------	---------

【4.視察及び講義に関連した費事業の特徴】

貴水道事業（用水供給事業）の特徴	琵琶湖表流水を水源とする急速ろ過(砂ろ過、粒状活性炭ろ過)の浄水場と、同原水を薬品沈殿、アンスラ高速1次ろ過後に緩速ろ過を設けた浄水場の、2施設を持つ。また、用水供給事業からの浄水受水をしている。
------------------	--

【5.問い合わせ先】

担当部署	上下水道部 浄水課 北山田浄水グループ
電話番号	077-562-1050

①	都道府県名	大阪府
②	事業者名	大阪市水道局
③	事業名称	大阪市水道
④	水道台帳番号	27001
⑤	給水人口(H21年度水道統計値)【単位：人】	2,663,033
⑥	一日最大給水量(H21年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	1,350,700
⑦	一日平均給水量(H21年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	1,210,074

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力【m ³ /日】	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数【日】	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 b.取水施設 c.水源林	Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	○ - -	-	0.5	有
②急速ろ過施設		Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	○ -	-	0.5	有
③緩速ろ過施設		Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	-	-	-	-
④膜ろ過施設		Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	-	-	-	-
⑤高度処理施設		Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	○ -	Ⅰ)ろ過処理（中Ⅰろ、後Ⅰろの2段注入）＋粒状活性炭処理	0.5	有
⑥海水淡化施設			-	・オゾン処理施設：向流散気管（ディフューザ）方式（Uチューブ方式設備を有する浄水場も有） ・粒状活性炭施設：BAC処理、固定層式重力開放型	-	-
⑦塩素消毒のみの施設		Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	-	-	-	-
⑧簡易水道等の小規模施設		Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	-	-	-	-
⑨研修施設	a.講義（座学）研修 b.技能、実技研修	○ ○	- -	研修室：2（およそ100名と40名） 建設（改築）中	0.5 0.5	- -
⑩水質試験所		○	-	給配水施設（2棟）、浄水施設、屋内実習室（電気・機械）	0.5	有
⑪その他	配水管理センター お客様センター 水道博物館 その他	○ ○ ○ ○	- - - -	DCS+TM/TC	0.5 0.5 0.5 0.5	有 有 有 有

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要日数【日】	過去の実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、水道関係行政 等	○			
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、顧客サービス 等	○	0.5	有	・水道局の組織 ・水道料金の制度 ・水道事業の経営状況 ・水道局の経営管理手法
③施設管理 ※マッピング、データ管理、維持管理、点検業務 等	○	0.5	有	・管路情報の管理 ・マッピングシステム ・管路情報管理システムの概要
④人事・研修 ※人材育成 等	○			
⑤広報 ※節水PRを含む	○			
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、更新計画、業務指標（PI）、地域水道ビジョン、アセットマネジメント 等	○	0.5	有	・事業の変遷 ・浄水処理方式の変遷 ・浄水施設整備事業・配水管整備事業の概要 ・省エネルギーに関する取組み ・気候と水源 ・水道施設の概要
⑦水源・取水・導水	○	0.5	有	・浄水場の施設概要（⑦・⑧・⑨）
⑧浄水施設等	○	0.5	有	・浄水場の施設概要（⑦・⑧・⑨） ・実習（ジャーテスト）
⑨送水システム等	○	0.5	有	・浄水場の施設概要（⑦・⑧・⑨）
⑩配水システム ※漏水防止を含む、給水工事、給水方式等	○	1	有	・漏水調査方法 ・修繕方法 ・給水装置の定義 ・給水方式（直結直圧・直結増圧・受水槽） ・局と所有者の管理区分や費用負担 ・実技研修
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、管材、緊急用資機材 等	○	0.5	有	・水道メータの具備すべき条件、水道メータ性能、構造、日常の維持管理 ・計量法の改正について
⑫機械・電気、計装	○	0.5	有	・機械設備の維持管理 ・電気設備の維持管理
⑬水質管理 ※水安全計画を含む	○	1	有	・水質管理の方法 ・塩素処理およびその他の浄水処理 ・事故事例
⑭危機管理	○	0.5	有	・大阪市の想定地震 ・大阪市の被害想定 ・大阪市の水道局の震災対策 ・大阪市の被害想定 ・応急給水計画の概要
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	c. 1週間以内
-----------------	----------

【4.視察及び講義に関連した費事業の特徴】

費水事業（用水供給事業）の特徴	・高度浄水処理水の全市域通水 ・震災対策の推進 ・ISO22000の認証取得 ・取水から給水に至る水道のトータルな運営ノウハウを習得できる体験型の研修施設（現在整備中）
-----------------	---

【5.問い合わせ先】

担当部署	総務部職員課
電話番号	06-6616-5425

①	都道府県名	大阪府
②	事業名	大阪府水道部
③	事業名称	大阪府水道用水供給事業
④	水道台帳番号	27501
⑤	給水人口(H21年度水道統計値)【単位：人】	6,163,301
⑥	一日最大給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	1,674,410
⑦	一日平均給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	1,473,011

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力 [m3/日]	建設又は改築工 事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要 日数 [日]	過去の 受入の 有無
①水源施設	a.ダム、貯水池	-				
	b.取水施設	○	-	磯島取水場（淀川から取水ポンプにより取水し、導水ポンプにより村野浄水場へ導水している。）	0.5	有
	c.水源林	-				
②急速ろ過施設	i.地表水	○	1,797,000	村野浄水場（ろ過池の一部については階層系浄水施設の中に設置されている。）	0.5	有
	ii.地下水					
③緩速ろ過施設	i.地表水					
	ii.地下水					
④膜ろ過施設	i.地表水					
	ii.地下水					
⑤高度処理施設	i.地表水	○	1,797,000	村野浄水場（平成10年7月より全量を高度浄水処理水として供給）	0.5	有
	ii.地下水					
⑥海水淡水化施設						
⑦塩素消毒のみの施設	i.地表水					
	ii.地下水					
⑧簡易水道等の小規模施設	i.地表水					
	ii.地下水					
⑨研修施設	a.講義(座学)研修	-				
	b.技能、実技研修	-				
⑩水質試験所		○	-	水質管理センター（水道・市町村分岐・ポンプ場などの水質検査を実施）	0.5	有
⑪その他	配水管理センター	○	-	送水管理センター（府営水道のポンプ場・浄水池を監視・遠隔制御）	0.5	有
	お客様センター		-			
	水道博物館		-			
	その他		-			

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施 の可否	講義必要 日数 [日]	過去の 実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、 水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、 顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、 維持管理、点検業務 等	○	0.5		管路情報システム等の概要説明
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、 更新計画、業務指標(Pf)、 地域水道ビジョン、 アセットマネジメント 等	○	0.5		水需要予測、施設整備マスタープラン、業務指標（P I）などの概要説明
⑦水源・取水・導水	○	0.5	有	磯島取水場などの概要説明
⑧浄水施設等	○	0.5	有	浄水場（村野・庭窪）の概要説明
⑨送水システム等	○	0.5	有	送水管理センターの概要説明
⑩配水システム ※漏水防止を含む、 給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、 管材、緊急用資機材 等				
⑫機械・電気、計装	○	0.5	有	浄水場等の各設備の概要説明
⑬水質管理 ※水安全計画を含む	○	0.5	有	水質管理センターの概要説明
⑭危機管理	○	0.5		危機管理体制、BCP地震版等の概要説明
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間 d. 1ヶ月以内

【4.視察及び講義に関連した費事業の特徴】

費水道事業（用水供給事業） の特徴	規模が大きく、供給先の市町村が42と多い。 原水はずべて淀川から取水している。 平成10年7月よりすべての浄水場から高度浄水処理水を供給している。
----------------------	---

【5.問い合わせ先】

担当部署	事業管理室調整課企画調整グループ
電話番号	06-6944-6869

①	都道府県名	兵庫県
②	事業者名	阪神水道企業団
③	事業名称	水道用水供給事業
④	水道台帳番号	28-501
⑤	給水人口(H21年度水道統計値)【単位：人】	-
⑥	一日最大給水量(H21年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	869,780
⑦	一日平均給水量(H21年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	744,057

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力 [m ³ /日]	建設又は改築工 事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要 日数 [日]	過去の 受入の 有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 b.取水施設 c.水源林	- - -	- - -			
②急速ろ過施設	Ⅰ地表水 Ⅱ地下水	○ -	373,000 -	高速ろ過設備	0.5	有
③緩速ろ過施設	Ⅰ地表水 Ⅱ地下水	- -	- -			
④膜ろ過施設	Ⅰ地表水 Ⅱ地下水	- -	- -			
⑤高度処理施設	Ⅰ地表水 Ⅱ地下水	○ -	373,000 -	酸素原料によるオゾン処理、流動層式活性炭吸着層	0.5	有
⑥海水淡水化施設	-	-	-			
⑦塩素消毒のみの施設	Ⅰ地表水 Ⅱ地下水	- -	- -			
⑧簡易水道等の小規模施設	Ⅰ地表水 Ⅱ地下水	- -	- -			
⑨研修施設	a.講義(座学)研修 b.技能、実技研修	- -	- -			
⑩水質試験所	-	-	-			
⑪その他	配水管理センター 公害センター 水道博物館 その他	- - - -	- - - -			

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施 の可否	講義必要 日数 [日]	過去の 実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、 水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、 顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、 維持管理、点検業務 等				
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、 更新計画、業務指標(Pf)、 地域水道ビジョン、 アセットマネジメント 等				
⑦水源・取水・導水				
⑧浄水施設等				
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、 給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、 管材、緊急用資機材 等				
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	a. 1日以内
-----------------	---------

【4.視察及び講義に関連した貴事業の特徴】

貴水道事業（水道供給事業） の特徴	神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市の4市に水道用水を供給する、水道用水供給事業。 尼崎、猪名川の2浄水場があり、全量がオゾンと活性炭処理を取り入れた高度浄水処理。
----------------------	--

【5.問い合わせ先】

担当部署	総務部 総務課 総務係
電話番号	078-431-4351

①	都道府県名	鳥取県
②	事業名	米子市水道事業
③	事業名称	米子市水道局
④	水道台帳番号	31002
⑤	給水人口(H21年度水道統計値)【単位：人】	188240
⑥	一日最大給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	74851
⑦	一日平均給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	66149

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力 [m3/日]	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要 日数 【日】	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 b.取水施設 c.水源林	- - -	- - -	地下85mの深井戸取水、塩素減菌のみで配水 鳥取・広島県境の分水嶺に約100ha所有	0.5 0.5	
②急速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
③緩速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
④膜ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑤高度処理施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑥海水淡水化施設	-	-	-			
⑦塩素消毒のみの施設	i.地表水 ii.地下水	○ -	7300 -	取水施設に隣接しており、予約あれば見学可	0.5	
⑧簡易水道等の小規模施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑨研修施設	a.講義(座学)研修 b.技能、実技研修	- ○	- -			
⑩水質試験所	配水管理センター お客様センター 水道博物館 その他	○ ○ ○ -	- - - -	水質管理課職員6名による直営検査を実施 米子市水道記念館、バリアフリー対応済	0.5 0.5	

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施 の可否	講義必要 日数 【日】	過去の 実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、 水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、 顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、 維持管理、点検業務 等				
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、 更新計画、業務指標(Pf)、 地域水道ビジョン、 アセットマネジメント 等				
⑦水源・取水・導水				
⑧浄水施設等				
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、 給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、 管材、緊急用資機材 等				
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	a.1日以内
-----------------	--------

【4.視察及び講義に関連した貴事業の特徴】

貴水道事業（用水供給事業） の特徴	深井戸からの地下水を中心とした取水により、浄水施設を持たず、塩素減菌のみの配水を実施中。水源涵養林の取得や「日野川流域憲章」制定など、地域連携による環境保全の啓発、推進にも力をいれている。
----------------------	--

【5.問い合わせ先】

担当部署	米子市水道局計画課
電話番号	0859-32-6112

①	都道府県名	岡山県
②	事業名	水道用水供給事業
③	事業名称	岡山市水道事業
④	水道台帳番号	33018
⑤	給水人口(12年度水道統計値)【単位：人】	697,406
⑥	一日最大給水量(12年度水道統計値)【単位：m3/日】	285,873
⑦	一日平均給水量(12年度水道統計値)【単位：m3/日】	259,077

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等		受入の可否	施設能力 [m3/日]	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数 [日]	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池	○	-			0.5	有
	b.取水施設	○	-		前処理に塩素注入し殺菌剤にPACを注入している施設	0.5	有
	c.水源林	○	-		昭和12年より稼働している地下水井施設	0.5	有
②急速ろ過施設	Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	○	46,000	建設(改築)中	平成20年より稼働しているクリプトスポリジウム対応施設	0.5	有
③緩速ろ過施設	Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	○	5,450		明治38年より稼働し登録有形文化財施設	0.5	有
④膜ろ過施設	Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水						
⑤高度処理施設	Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水						
⑥海水淡水化施設							
⑦塩素消毒のみの施設	Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水	○	5,000		伏流水を取水し紫外線でクリプトスポリジウム対応した施設	0.5	
⑧簡易水道等の小規模施設	Ⅰ 地表水 Ⅱ 地下水						
⑨研修施設	a.講義(座学)研修 b.技能、実技研修	○ ○	- -		近接の浄水場会議室 配水管維持管理研修用の屋内・屋外研修施設	0.5 0.5	
⑩水質試験所		○	-		水質検査を行う施設	0.5	有
⑪その他	配水管理センター	○	-		岡山市の中南部の配水コントロールをしている施設	0.5	
	お客様センター	○	-		水道に関する展示、問い合わせの受付窓口	0.5	
	水道博物館	○	-		水の大切さについて学べる体験施設	0.5	
	その他	○	-				有

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施 の可否	講義必要 日数 [日]	過去の 実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、 水道関係行政 等	○	0.5		水道関係法令
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、 顧客サービス 等	○	0.5	有	財務管理、公営企業経営健全化計画
③施設管理 ※マッピング、データ管理、 維持管理、点検業務 等	○	0.5	有	マッピングシステム、データ管理
④人事・研修 ※人材育成 等	○	0.5	有	人材育成
⑤広報 ※節水PRを含む	○	0.5	有	市民向け広報
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、 更新計画、業務指標(P)、 地域水道ビジョン、 アセットマネジメント 等	○	1	有	アクアプラン、アクションプラン 水需要予測、施設整備及び更新計画、地域水道ビジョン
⑦水源・取水・導水	○	0.5	有	浄水管理
⑧浄水施設等	○	0.5	有	浄水管理
⑨送水システム等	○	0.5	有	浄水管理
⑩配水システム ※漏水防止を含む、 給水工事、給水方式等	○	0.5	有	漏水防止事業
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、 管材、緊急用資機材 等	○	0.5		水道用資材について
⑫機械・電気、計装	○	0.5		設備管理
⑬水質管理 ※水安全計画を含む	○	0.5	有	水質管理
⑭危機管理	○	0.5		危機管理
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	b.3日以内
-----------------	--------

【4.視察及び講義に関連した貴事業の特徴】

貴水道事業（水道供給事業） の特徴	1905年(明治38年)に全国で8番目の近代水道として通水して以来、一度も断水することなく水道を供給し、施設の一部は、創設当時のまま現役で稼働している。 また、バングラデシュ、ネパール、インドネシア等に職員を派遣し、現地の浄水施設の改善、指導にあたった実績がある。
----------------------	---

【5.問い合わせ先】

担当部署	岡山市水道局企画総務課
電話番号	086-234-5906

①	都道府県名	岡山県
②	事業名	倉敷市
③	事業名称	倉敷市水道事業 倉敷水道事業
④	水道台帳番号	33041
⑤	給水人口(H21年度水道統計値)【単位：人】	456511
⑥	一日最大給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	191241
⑦	一日平均給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	166371

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力【m3/日】	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数【日】	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 b.取水施設 c.水源林	- ○ -	- - -	片島浄水場 片島浄水場	0.5 0.5	
②急速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	○ -	24070 -	片島浄水場	0.5	
③緩速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
④膜ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑤高度処理施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑥海水淡水化施設	-	-	-			
⑦塩素消毒のみの施設	i.地表水 ii.地下水	○ -	42000 -	上成浄水場	0.5	
⑧簡易水道等の小規模施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑨研修施設	a.講義(座学)研修 b.技能、実技研修	○ ○	- -	片島浄水場内に水道技術研修施設あり。 片島浄水場内に水質試験センターあり。	0.5 0.5	
⑩水質試験所	配水管センター お客様センター	- -	- -			
⑪その他	水道博物館 その他	- -	- -			

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要日数【日】	過去の実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、維持管理、点検業務 等				
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、更新計画、業務指標(Pf)、地域水道ビジョン、アセットマネジメント 等				
⑦水源・取水・導水				
⑧浄水施設等				
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、管材、緊急用資機材 等				
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間 a. 1日以内

【4.視察及び講義に関連した貴事業の特徴】

貴水道事業（用水供給事業）の特徴	特になし。
------------------	-------

【5.問い合わせ先】

担当部署	水道総務課企画検査室
電話番号	086-426-3655

①	都道府県名	広島県
②	事業名	大竹市
③	事業名称	大竹市水道事業
④	水道台帳番号	34002
⑤	給水人口(H21年度水道統計値)【単位：人】	28,630
⑥	一日最大給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	13,320
⑦	一日平均給水量(H21年度水道統計値)【単位：m3/日】	11,885

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力【m3/日】	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数【日】	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 b.取水施設 c.水源林	- ○ -	- - -			
②急速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
③緩速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	○ -	12,800 -		0.5	
④膜ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑤高度処理施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑥海水淡水化施設		-	-			
⑦塩素消毒のみの施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑧簡易水道等の小規模施設	i.地表水 ii.地下水	- -	- -			
⑨研修施設	a.講義(座学)研修 b.技能、実技研修	- -	- -			
⑩水質試験所		-	-			
⑪その他	配水管理センター お客様センター 水道博物館 その他	- - - -	- - - -			

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要日数【日】	過去の実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、維持管理、点検業務 等				
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、更新計画、業務指標(Pf)、地域水道ビジョン、アセットマネジメント 等				
⑦水源・取水・導水				
⑧浄水施設等				
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、管材、緊急用資機材 等				
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間 a. 1日以内

【4.視察及び講義に関連した費事業の特徴】

費事業（用水供給事業）の特徴	伏流水を緩速ろ過し、さらに紫外線消毒・塩素滅菌を経て、各家庭に給水している。薬品処理は塩素滅菌だけであり、安全でおいしい水を供給している。また、沿岸部の港湾施設から船舶給水を実施している。
----------------	--

【5.問い合わせ先】

担当部署	業務課
電話番号	0827-59-2193

①	都道府県名	広島県
②	事業者名	広島市水道局
③	事業名称	広島市水道事業
④	水道台帳番号	34009
⑤	給水人口(21年度水道統計値)【単位：人】	1,200,886
⑥	一日最大給水量(21年度水道統計値)【単位：m3/日】	432,826
⑦	一日平均給水量(21年度水道統計値)【単位：m3/日】	384,641

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等		受入の可否	施設能力 [m3/日]	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要 日数 [日]	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池	○	-	-	湯井ダム（有効貯水量7,900万m3）	0.5	有
	b.取水施設	○	-	-	高陽取水場（計画取水量210,000m3/日）	0.5	有
	c.水源林	○	-	-	太田川源流の森（355ha）	0.5	有
		○	200,000	-	高陽浄水場（沈でん池：4、ろ過池：2）	0.5	有
②急速ろ過施設		○	27,000	-	府中浄水場（ろ過池：10）	0.5	有
③緩速ろ過施設		○	-	-			
④膜ろ過施設		○	-	-			
⑤高度処理施設		○	-	-			
⑥海水淡水化施設		○	-	-			
⑦塩素消毒のみの施設		○	-	-			
⑧簡易水道等の小規模施設		○	1,150	-	湯来地区簡易水道事業施設（緩ろ過）	0.5	有
		○	297	-	橘地区簡易水道事業施設（急速ろ過）	0.5	有
⑨研修施設	a.講義(座学)研修	○	-	-	水道技術研修センター、設備技術研修室	0.5	有
	b.技能、実技研修	○	-	-			
⑩水質試験所		○	-	-	水質管理課（高陽浄水場内）	0.5	有
⑪その他	配水管理センター	○	-	-			
	お客様センター	○	-	-	引越お客様受付センター（基町庁舎内）	0.5	
	水道博物館	○	-	-	水道資料館（牛田浄水場内）	0.5	有
	その他	-	-	-			

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要 日数 [日]	過去の 実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、 水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、 顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、 維持管理、点検業務 等	○	0.5	有	マッピングシステム
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、 更新計画、業務指標(Pf)、 地域水道ビジョン、 アセットマネジメント 等	○	1.5	有	水道計画策定手順、配水施設計画、管路更新計画
⑦水源・取水・導水	○	0.5	有	水源林の機能・保全
⑧浄水施設等	○	2	有	取水場・浄水場及びポンプ所の運転管理・維持管理、簡易水道設備の維持管理
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、 給水工事、給水方式等	○	3	有	配水施設の概要・維持管理、漏水調査・修理、給・配水管の破裂修理
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、 管材、緊急用資機材 等	○	0.5	有	給水装置の概要
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む	○	1	有	水源の種類、浄水処理方法、消毒、水質基準、水質検査
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	d. 1ヶ月以内
-----------------	----------

【4.視察及び講義に関連した費事業の特徴】

費水事業（用水供給事業） の特徴	現在実施している「JICA研修」の研修内容の範囲内での受け入れ対応可能
---------------------	-------------------------------------

【5.問い合わせ先】

担当部署	広島市水道局人事課
電話番号	082-511-6821

①	都道府県名	山口県
②	事業省名	下松市
③	事業名称	下松市水道事業
④	水道台帳番号	35008
⑤	給水人口(121年度水道統計値)【単位：人】	52924
⑥	一日最大給水量(121年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	49270
⑦	一日平均給水量(121年度水道統計値)【単位：m ³ /日】	37161

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力 [m ³ /日]	建設又は改築 工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要 日数 [日]	過去の 受入の 有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 ○ b.取水施設 ○ c.水源地 ○	- - -	- - -	重カコンクリートダム 452万m ³ 、ロックフィルダム 1,967万m ³	0.5 0.5 0.5	
②急速ろ過施設	○	60000		傾斜板式沈澱池、二層ろ過	0.5	
③緩速ろ過施設						
④膜ろ過施設						
⑤高度処理施設	○	40000		粒状活性炭処理	0.5	
⑥ろ過水濾水化施設						
⑦塩素消毒のみの施設						
⑧簡易水道等の小規模施設						
⑨研修施設	a.講義(座学)研修 b.技能、実技研修	- -	- -			
⑩水質試験所		-	-			
⑪その他	配水管理センター 管理センター 水質検査所 その他	- - - -	- - - -			

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施 の可否	講義必要 日数 [日]	過去の 実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、 水道関係行政 等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、 顧客サービス 等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、 維持管理、点検業務 等				
④人事・研修 ※人材育成 等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、 更新計画、業務指標(PFI、 地域水道ビジョン、 アセットマネジメント 等				
⑦水源・取水・導水				
⑧浄水施設等				
⑨送水システム等				
⑩配水システム ※漏水防止を含む、 給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、 管材、緊急用資機材 等				
⑫機械・電気、計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間	a. 1日以内
-----------------	---------

【4.視察及び講義に関連した費事業の特徴】

費水道事業（用水供給事業） の特徴	水源から浄水・配水施設まで半日で視察可能。かつ大半が自然流下。給水原価86.61円/㎡。CO2排出量129.2g・CO2/㎡。
----------------------	---

【5.問い合わせ先】

担当部署	水道局業務課総務係
電話番号	0833-41-2150

①	都道府県名	沖縄県
②	事業者名	沖縄県企業局
③	事業名称	沖縄県水道用水供給事業
④	水道台帳番号	47501
⑤	給水人口H21年度水道統計値【単位：人】	1258920
⑥	一日最大給水量H21年度水道統計値【単位：m3/日】	450900
⑦	一日平均給水量H21年度水道統計値【単位：m3/日】	413149

【1.視察受入可能な施設（複数回答可）】

施設種別、概要等	受入の可否	施設能力【m3/日】	建設又は改築工事の実施の有無	視察受入施設の特徴	視察必要日数【日】	過去の受入の有無
①水源施設	a.ダム、貯水池 b.取水施設 c.水源林	○ ○ ○	- - -	ゴム引布製取水堤（小国川からの湧水等取水）	0.5 0.5 0.5	有 有 有
②急速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	○ ○	建設(改築)中	高度処理、海水淡水化施設、硬度低減化施設が併設	0.5 0.5	有 有
③緩速ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	-	硬度低減化施設との複合構造物	-	-
④膜ろ過施設	i.地表水 ii.地下水	- -	-	-	-	-
⑤高度処理施設	i.地表水 ii.地下水	○ ○	180300 27000	海水淡水化施設、硬度低減化施設が併設	0.5	有
⑥海水淡水化施設	-	○	40000	急速ろ過施設、高度処理、高度低減化施設が併設	0.5	有
⑦塩素消毒のみの施設	i.地表水 ii.地下水	- -	-	-	-	-
⑧簡易水道等の小規模施設	i.地表水 ii.地下水	- -	-	-	-	-
⑨研修施設	a.職員(座学)研修 b.技能、実技研修	- -	- -	-	-	-
⑩水質試験所	配水管理センター お客センター 水道博物館 その他	○ ○ ○ ○	- - - -	水道GILP認定水質検査機関 水源地水量から浄水場の水質調整までを効率的に運用するための集中管理システム	0.5 0.5	有 有

【2.講義実施可能な科目（複数回答可）】

講義項目	講義実施の可否	講義必要日数【日】	過去の実施の有無	講義の概要
①法制・行政 ※水道関係法令、水道関係行政等				
②水道経営 ※経営一般、財務、料金、顧客サービス等				
③施設管理 ※マッピング、データ管理、維持管理、点検業務等				
④人事・研修 ※人材育成等				
⑤広報 ※節水PRを含む				
⑥水道計画 ※水需要予測、整備計画、更新計画、業務指標(Pf)、地域水道ビジョン、アセットマネジメント等	○	1	有	島嶼地域における水道計画（沖縄県内事例紹介など）
⑦水源・取水・導水	○	0.5	有	島嶼地域での限られた水源を効率的に活用するための水源開発や水源管理、水運用に関すること
⑧浄水施設等	○	0.5	有	急速ろ過施設、高度処理、海水淡水化施設（逆浸透法）、硬度低減化施設（流動床式晶析軟化法）に関すること
⑨送水システム等	○	0.5	有	島嶼地域での限られた水源を効率的に活用するための水源開発や水源管理、水運用に関すること
⑩配水システム ※漏水防止を含む、給水工事、給水方式等				
⑪水道用資材 ※薬品、給水装置、管材、緊急用資機材等				
⑫機械・電気・計装				
⑬水質管理 ※水安全計画を含む				
⑭危機管理				
⑮その他				

【3.視察及び講義の受入可能期間】

1回の研修での最大受入可能期間 c. 1週間以内

【4.視察及び講義に関連した貴事業の特徴】

貴水道事業（用水供給事業）の特徴	島嶼地域である沖縄県で蓄積してきた、限られた水源を効率的に活用するための水源開発や水源管理、水運用に関するノウハウを生かした技術協力
------------------	--

【5.問い合わせ先】

担当部署	沖縄県企業局 総務企画課 人事班
電話番号	098-866-2803